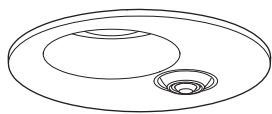


施工説明書

住宅用照明器具 (リモコンFreePaダウンライト)



品番 LGWC71660KLE1 (ホワイトつや消し)

LGWC71661KLE1 (オフブラック)

LGWC71662KLE1 (プラチナメタリック)

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

■天井

●次のような場所には取り付けない

火災、落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。



禁止



- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜した天井面
- ・浴室などの湿気の多い場所
- ・振動のある場所
- ・埋め込まれた本体に水のかかる場所

◎この器具は水平天井面埋め込み専用防雨型です。(防湿型ではありません。天井外側のみ防水構造となっており、天井内側から湿気や水気が浸入する場所には取り付けしないでください。)

◎石膏ボード(9mm以上)に取り付けできます。

内側

IP30

外側

IP23

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しない

過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SGI・SG形適合品

マット敷工法



ブローイング工法

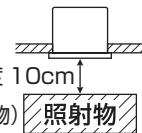


●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

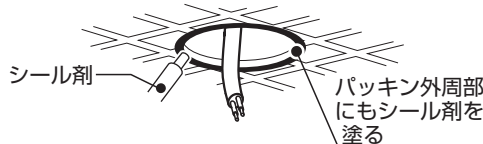
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度 10cm

(ドア・家具・布等の可燃物)



●天井面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る



本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に取り付けるに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



必ず守る



必ず守る

警告

■その他



必ず守る

- 電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
端子台カバー外れや差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本体は埋込穴に確実に押し込む
押し込みが不十分な場合、ガタツキおよび器具落下のおそれがあります。



禁止



アース線接続

- 屋内配線の電源・ケーブルなどは器具に接触させない
火災のおそれがあります。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実にを行う
接地不完全な場合、感電のおそれがあります。

注意



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
- ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。



必ず守る

- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

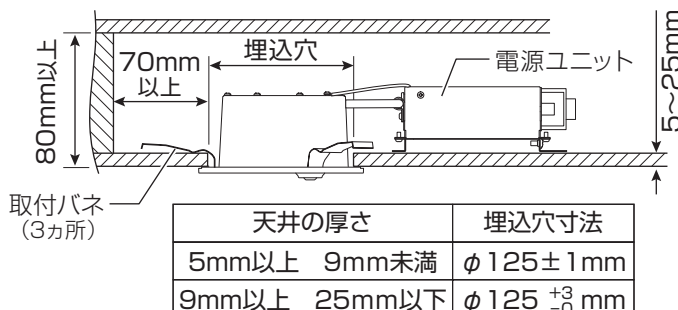
施工前のご確認事項

取付場所についてのご注意

- 次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

✕ 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所	✕ 反射の強い床面のある場所	✕ 風などでよくゆれる植物の近くなど	✕ 取り付け高さが2.5mを超える場所	✕ 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの近く
✕ 交通量の多い道路に面した場所	✕ 前面に障害物のある場所(透明なガラスも含む)	✕ 他の照明器具や壁に近い場所		

- 器具の取り付け高さは1.8m～2.5mの間で取り付けてください。(設定リモコンの性能が1m以内のため)
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- 取付場所は、器具質量(約0.9kg)に耐える強度を確保してください。適合する造営材の厚みは5～25mmです。埋込穴寸法は右記を参照してください。
- 埋込深さは80mm以上、取付バネ方向は横の造営材などから70mm以上、確保してください。
- 表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- 「ブローイング工法」**吹込用繊維質断熱材<JIS A9523>及びマット敷工法での断熱施工された天井面に使用することができます。(JIL5002適合)
その他の特殊な断熱施工された天井には使用できません。



配線についてのご注意

- 必ず壁スイッチを設けてください。
・センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
・長期間使用しない時やお手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご利用ください。(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)

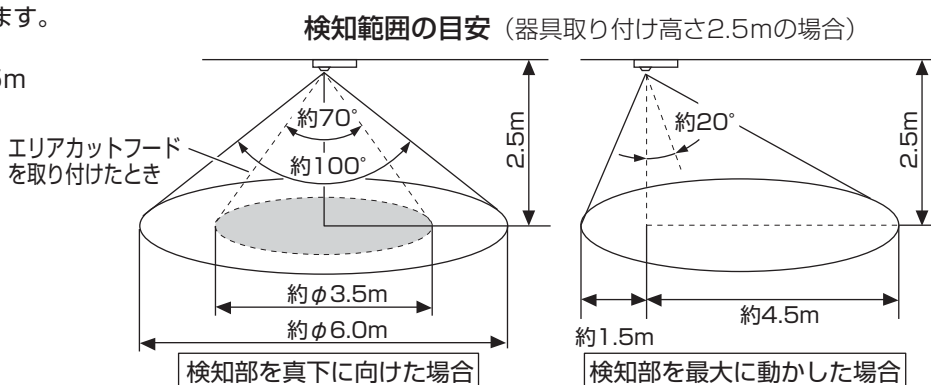
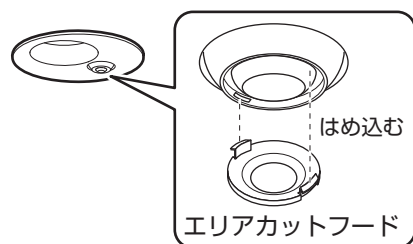
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。
- 一般照明器具や換気扇との連動はできません。
- センサ子器を使つての多箇所検知はできません。



LGWC71660KLE1-S3B3

検知範囲について

- 検知部を動かして、検知範囲を調整できます。
(検知部は全方向に約20度動きます。)
- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)~2.5mの間では、検知範囲は変わりません。



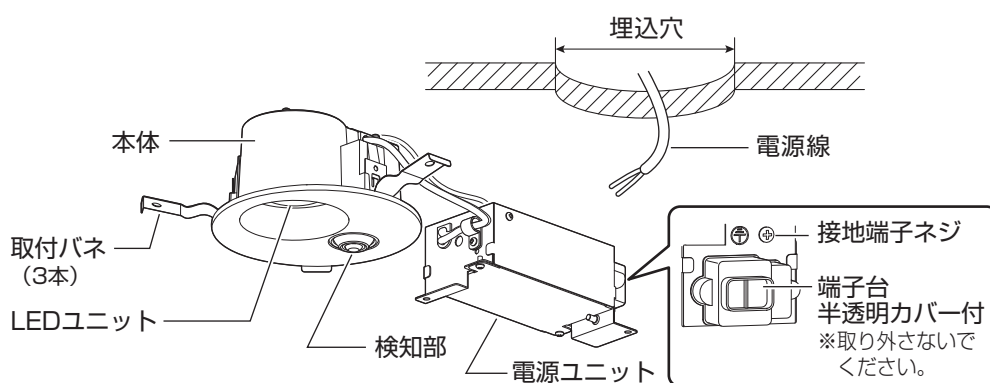
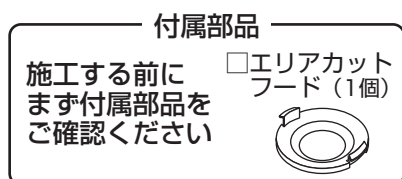
ご注意

- ・ この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車、換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- ・ 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・ 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- ・ センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

- ・ 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。



1 天井に埋込穴をあける

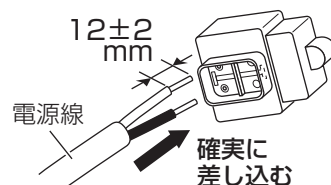
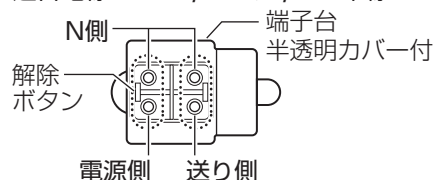
- ・ 天井の厚さにより、下記寸法の穴をあける。

天井の厚さ	埋込穴寸法
5mm以上 9mm未満	$\phi 125 \pm 1 \text{ mm}$
9mm以上 25mm以下	$\phi 125 \pm 3_0^3 \text{ mm}$

※ 指定寸法でない場合、すき間があきます。
精度よく穴をあけるために、ダウンライト
カッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

- ・ 電源線は端子台カバーの上から端子台の
差込穴の奥まで確実に差し込む。
- ・ 送り総容量は4A以下です。
- ・ 適合電線：VVF $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線

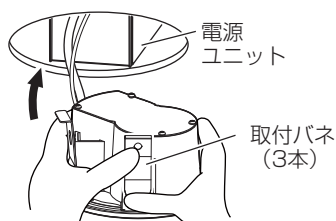


器具の取り替え等で電源線を外す場合
は、マイナスイドライバー等で解除ボタ
ンを押しながら電源線を引き抜く。

- ・ 接地端子ネジよりD種(第3種)接地工事を行ってください。

3 埋込穴に電源ユニット・本体を入れる

- ① 電源ユニットを埋込穴に入れる。
- ② 取付バネ(3本)を押えながら、
本体を埋込穴に確実に押し込む。

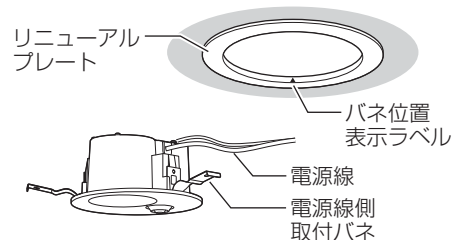


警告

- 本体は埋込穴に確実に押し込む
押し込みが不十分な場合、ガタツキ
および器具落下のおそれがあります。

- 石膏ボードに取り付けた器具を取り外す場合は、
枠部をゆっくり引き下げて取付バネ(3本)を
押し曲げながら取り外してください。
取り外しに不備があると、天井材破損の原因と
なることがあります。

リニューアルプレートに付ける場合



リニューアルプレートのパネ位置表示
ラベル「▲」印に、電源線側取付バネ
を合わせて本体を押し込んでください。

検知範囲と点灯モードを設定する

昼間でも設定できます

- 設定リモコン（別売HK9435）で設定してください。

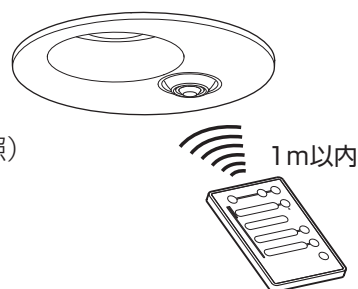
1 壁スイッチをONにする

- ・壁スイッチをONにした直後はリモコン操作ができません。
40秒以上待ち、照明が一旦消えてから操作してください。

2 検知範囲を調整する

【手順】

- ①設定リモコンを器具に向け、自動点灯する周囲の明るさ「切」ボタン（ひと検知テスト用）を押す
 - ・リモコン信号を受信すると照明が1回点滅するアンサーバックにてお知らせします。
 - ・アンサーバック後、設定されているひと検知点灯保持時間点灯後、消灯します。
- ②器具から離れる
- ③消灯後器具に近づいて、検知範囲を確認する
 - ・昼間でも器具に近づいたら5秒間点灯します。
- ④検知範囲を変更したい場合は検知部を動かし調整する
 - ・検知部は全方向に約20度動きます。（ 3ページ「検知範囲について」参照）
- ⑤検知範囲の外に出る
- ⑥消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する
- ⑦自動点灯する周囲の明るさを設定する（出荷時は『暗い』）



3 使いかたに合わせて点灯モードなどを設定する

詳しくは  取扱説明書6～7ページ参照

- ご使用前に、設定リモコンで使いたい点灯モード、設定項目を設定してください。
- 出荷時には、『FreePa ON/OFF点灯』モードに設定しています。
- 以下の点灯モードがあります。

FreePa お出迎え点灯

- ・暗くなるとほんのり（約20%の明るさで）点灯します。
人を検知すると100%点灯します。

FreePa お出迎え点灯+フラッシュ

- ・防犯機能を備えたお出迎え点灯モードです。
設定時間以上人を検知するとフラッシュ（点滅）します。

FreePa ON/OFF点灯（出荷時）

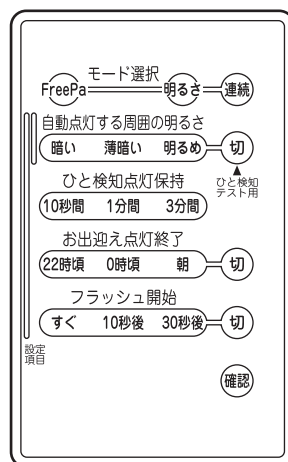
- ・暗い時に人を検知すると点灯します。

FreePa ON/OFF点灯+フラッシュ

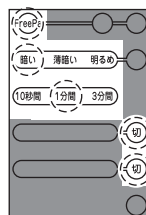
- ・防犯機能を備えたON/OFF点灯モードです。
設定時間以上人を検知するとフラッシュ（点滅）します。

明るさセンサ

- ・暗くなると、人がいなくても点灯します。



設定リモコン 出荷時の設定



出荷時は
『FreePa ON/OFF点灯』モード
（ で囲ったボタン）
に設定されています。